

令和2年第4回(12月)富田林市議会定例会の報告について

質問者	質問の要旨	資料/担当課
とんだばやし未来 代表質問 辰巳 真司 議員	<p>3. ランニングパトロールについて。</p> <p>(1) 本市におけるランニングパトロールの今までの実施回数と現在の状況について。</p> <p>(2) ランニングパトロールをたくさんの方に参加してもらい、定期的に開催するための方策について。</p> <p>(3) 健康増進およびコミュニティの醸成の観点から活動内容の充実について。</p> <p>(4) 行政および事務局は過去の活動の総括を行っているのか、またより良い取り組みにするためにどのような努力をしているのか</p>	資料1/ 生涯学習課 危機管理室
	<p>6. 子どもたちの安全対策について。</p> <p>(1) ICTを活用した見守りについて。</p>	資料2/ 教育指導室
自由民主党 代表質問 南方 泉 議員	<p>2. 市立小中学校におけるオーガニック給食の導入について</p> <p>(1) 子どものために地域のオーガニック野菜やお米の給食導入について早急に検討してはどうか。</p> <p>(2) 地産地消コーディネーターの設置について</p>	資料3/ 学校給食課
大阪維新の会・ 無会派の会 代表質問 伊東 寛光 議員	<p>4. 市立小・中学校における教育環境の向上と、義務教育9年間を見通した教育活動の展開について。</p> <p>(1) 市立小学校における教科担任制の導入について。</p> <p>① 同じ学年の教員同士で得意な授業を交換・分担するなど、疑似的な教科担任制の取り組みを広めてはどうか。</p> <p>② 教科担任制を基本とする中学校の授業との連携について、どのように考えているのか。</p> <p>(2) 義務教育学校の設置も視野に入れた、市立小・中学校の統廃合について。 ※他の公共施設との複合化や共用化の検討、教育委員会だけでなく、財政課や行政管理課など首長部局との分野横断的な検討体制の構築についても言及する。</p>	資料4/ 教育指導室
	<p>5. 市立幼稚園・保育所の現状と今後について。</p> <p>(1) 市立幼稚園の存在意義についてどのように考えているのか。</p> <p>(2) 令和3年度の市立幼稚園の申込状況を、執行部はどのように受け止めているのか。</p> <p>(3) 市立幼稚園・保育園の児童1人当たりに掛かる費用について。 ※児童1人当たりの実質的な費用は、市立幼稚園の方が保育園よりも高いのではないかと。</p> <p>(4) 市立幼稚園の統廃合を先送りしたことによって掛かった費用、及びこれから掛かる見込みの費用について。</p> <p>(5) 市立幼稚園の統廃合の時期についてどのように考えているのか。 ※直ちに検討を始め、遅くとも令和3年度中には基本方針を策定すべきだと考えるが、執行部の見解を求める。</p> <p>(6) 市立保育所の民営化はどのようになっているのか。 ※「富田林市立保育所民営化基本方針」の進捗状況について聞く。</p>	資料5/ 教育指導室 こども未来室

令和2年第4回（12月）富田林市議会定例会の報告について

質問者	質 問 の 要 旨	資料/担当課
ふるさと富田林 代表質問 坂口 真紀 議員	1. 教育現場における不登校児童生徒への取り組み状況と支援体制について (1) 不登校児童生徒の状況把握と対応について (2) 教育機会確保法の学校での取り組み状況について (3) スクールソーシャルワーカーの位置づけと役割について	資料6/ 教育指導室
	2. フリースクールとの連携、支援について (1) フリースクールとの連携体制の確立について (2) フリースクールでの出席認定について (3) フリースクールに通う児童生徒に教育バウチャー制度導入を	資料 7/ 教育指導室
公明党 代表質問 高山 裕次 議員	2. 総合的なうつつ対策の充実に向けて (2) 子どもたちの心のケアに向けたスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置拡充を求めて ① 学校における子どもの心身の不調の早期発見に向けた取組みについて ② 現在のスクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの配置状況について ③ スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーが対応している相談内容の状況とその対応について	資料 8/ 教育指導室
	3. 移住先に選んでもらえるような魅力ある図書館を目指して (1) 今後の図書館の新設について ～「読書の森」松原市民図書館を視察して～ ① 子どもがのびのびと本に触れる事ができる環境と、大人がゆっくりと読書できる環境が同時に叶う施設を求めて ② 例えば、旧給食センターの跡地を利用するなどして「子育てするなら」「住み続けたい」に通じる、魅力ある図書館を新設することについて (2) 大阪狭山市などを参考に電子図書館を導入することについて ① 電子図書のメリットとデメリットについて ② コロナ禍を経験し、オンラインで貸し借りできる電子図書の必要性を感じるが、導入する事について市の見解を問う (3) 手話言語条例の制定後、市民の手話への理解を深めるため、手話関係の本に特化した「手話コーナー」を常設することについて	資料 9/ 図書館